



# 慈恩

## 雲林寺報第30号

令和3年1月発行



令和2年12月10日 雲林寺永代供養墓開眼饗養式

### 思いやりとつながり

令和三年の年頭にあたり、謹んで新春のお慶びを申し上げます。

檀信徒の皆様には平素よりの当山へのご道愛に感謝致しますと共に本年も変わらぬご法愛を賜りますようお願い申し上げます。

未だに終息の兆しが見えないコロナ禍にあって、感染防止のための外出自粛やマスク着用、ソーシャルディスタンスの徹底、リモートワーク、リモート授業等、日常生活の過ごし方が大きく変化致しました。

「毎年、実家へ帰省していたけど、このお正月は帰らない」という人も多いのではないのでしょうか。

感染防止対策を優先しながら迎える新年はご挨拶の仕方今までは違うものになりそうです。

同時にコロナ禍が「相手への思いやり」「人とのつながり」の真の大切さに目を向けるきっかけとなった人も少なくないように思われます。

「人への思いやり」や「人とのつながり」は私達が生活していく上で欠かせないものと頭ではわかっていても、自己中心的な人々を世の中が作り出してきている現状は否めません。

誰もが苦難を強いられているコロナ禍で、ひとりひとりが「人への思いやり」「人とのつながり」を冷静に深く参究することも、今だからこそ求められている大切な報恩の行ではないでしょうか。

住職就任から約一年ほど経ちましたが改めて多くの人からの支えによって生かされている事を本年も胸に刻み弁道精進して参ります。

末筆乍 檀信徒皆様のご安寧と福寿無量を心よりご祈念申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

### 任職 轟 省吾

### 護持会だより

本年も宜しくお願い致します。

世話人の交代がありましたことをご報告いたします。羽根尾地区の世話人を務めて頂きました黒岩進様が昨年未で退任され、後任に黒岩清次様に務めて頂くこととなりました。黒岩様には長きに渡り、ご尽力賜り感謝申し上げます。

#### (総代)

#### (世話人)

#### 大津

#### 羽根尾 与喜屋 横壁 林 川原湯畑 北軽井沢

- 田村 守
- 櫻井芳樹
- 山口次夫
- 永井芳司
- 櫻井輝久
- 長谷川誠
- 黒岩 元
- 宮崎 透
- 萩原宗仁
- 佐藤良平
- 湯本定由
- 山崎敷男
- 長谷川浩一
- 岩木夏雄
- 浅見良雄
- 櫻井敏雄
- 山口義秋
- 萩原富夫
- 金子茂雄
- 小林寛
- 小林柳一
- 豊田清
- 青木博文
- 小林一雄
- 岩田紀重
- 清水忠雄
- 神戸久利
- 宮田清
- 宮澤昭次
- 斎藤光善
- 唐沢明雄
- 小林喜一郎
- 湯本茂
- 吉澤功
- 黒岩清次

昨年十二月に総代会が開催されました。二月二日の新年祈禱会は内献にて行う事になりました。また、毎年一月四日より年頭のご挨拶に檀家様各家へ伺わせて頂いておりますが、本年は、担当の世話人様が御札等をお届け致しますので、ご承知の程お願い申し上げます。

更には、二月三日の節分会に關しては、祈禱のみ行い、本堂内での豆まき会は中止となりましたのでご報告致します。

また、三月以降の行事に關しては直接お寺にお問い合わせ下さい。何とぞご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

#### 〔開催未定の行事〕

- 四月三日 大般若会
- 六月中旬 護持会総会
- 八月十四日 大施食会
- 十月中旬 親睦ゴルフコンパ



# 主な催しのご報告（令和二年）

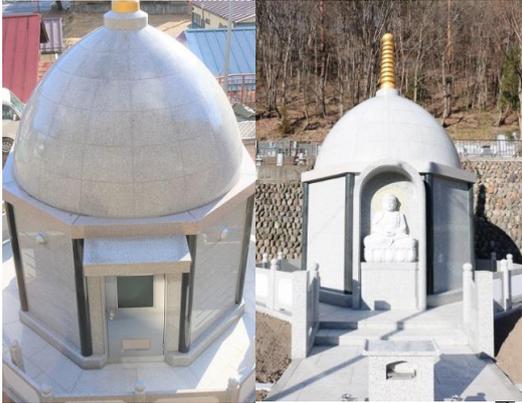


①八月十四日は大施食会  
 ②昨年の大施食会は  
 コロナ禍の中、判断の難し  
 いものでしたが、多くの皆  
 様が御来山下さり、無事  
 円成いたしました。堂内に  
 入れる人数が限られてい  
 る中、外でお待ち頂いた皆  
 方には大変ご迷惑をおかけ  
 致しました。  
 ③九月二十二日は長野原町  
 横壁の勢至菩薩、観世音菩  
 薩供養祭でした。一六八四  
 （貞亨元年）に建立され、  
 ダム建設に伴い平成二十三  
 年に現在地に新設されまし  
 た。  
 ④九月二十七日、長野原町  
 北軽井沢大屋原地区にて群  
 馬県満蒙拓魂之塔奉賛会、  
 群馬県拓友協会主催による  
 拓魂祭がございました。  
 群馬から満州へ開拓民とし  
 て送られた、犠牲になった方  
 や開拓に従事した物故者を  
 祀ります。昭和四十九年よ  
 りはじまり、今年で四十七  
 回目、合祀者は合計三三二  
 八霊になります。毎年、式  
 典の終わりに「満州開拓  
 の歌」が有志の方々により  
 歌われます。  
 ⑤十月五日境内で長野原町  
 戦没者追悼式を執り行いま  
 した。境内にある忠霊塔は  
 第二次世界大戦の長野原町  
 の戦没者の霊を顕彰してい  
 ます。  
 ⑥十一月十八日、長野原区  
 第一常会で毎年行われてい  
 る、白馬観音供養祭が執り  
 行われました。その昔、こ  
 の地域では馬を飼っている  
 家庭が多く、その馬を供養

# 雲林寺永代供養墓 ついに完成！



190mm×50mmのステンレスプレートを芳 納骨堂内には骨壺が約120  
 名版に貼ります。塔婆建てもごさいます。置ける棚がごさいます。



正面真後ろに納骨堂  
 扉があり、両隣が芳名  
 版になります。  
 釈迦如来仏像が鎮座す  
 墓苑の守り本尊として  
 お祀りされています。

私たちの生命の流れは、遠い先祖様  
 から脈々と引き継ぎ、そして来世に引き  
 継がれていきます。かけがえのない生命  
 の流れを大切にすることが、ご先祖様の  
 供養なのです。  
 お墓は、「家」を単位として、代々受  
 け継がれることを前提にしています。  
 しかし現代では、家族形態の変化により  
 お墓を継承していくことが難しくなっ  
 てきている様です。ご子息が遠いところ  
 に住んでいてお墓の面倒を見るのが大  
 変だったり、生涯独り身ですごされた方  
 にとっては、お墓は、「欲しいけれども  
 持つのが難しい」ものとなりつつありま  
 す。  
 当山では、永代供養墓のご相談を頂く  
 件数が年々増え、昨年八月より工事を着  
 工し十二月に完成致しました。春、秋の  
 彼岸法要、盂蘭盆会法要を行ない、仏様  
 の安息を願ってお祈り致します。  
 建立に際しご尽力頂きました宮川技  
 建工業様並びに遊設計様、そして野口工  
 務店様には丁寧な作業して頂き誠にあ  
 りがとうございました。  
 既に当山にお骨をお預かりしている  
 方はもちろんのこと、今後永代供養墓を  
 検討されている方は是非いつでもお気軽  
 にご相談下さい。ご案内させて頂きま  
 す。



# 大節分会

二月三日は節分会です。今年は新型コロナウィルス感染拡大の状況を鑑み、厄払いの祈禱法要のみとし、豆まき会は中止とさせて頂きます。

「節分講」は例年通り申し込みを受け付けます。「福豆」「寿菓」「お札」をお配り致します。

## 一般祈禱 二千円

日本人は長い歴史の中で、疫病（感染症）に何度も苦しめられ、見えない敵と闘ってきました。その名残が節分の豆まきで、室町時代から続いているといわれています。

現在の疫病「新型コロナウイルス」。「鬼は外、福は内」の豆まきで厄払い、「新型コロナウイルス」を退散し終息を願いたいものです。

皆様の無病息災を願い、ご祈禱させて頂きます。

# 2月3(水)午後2時

お申し込みは世話人さん、又は直接お寺にお申し込み下さい。  
 祈禱を申し込まれた方は恐れ入りますが、当日マスク着用でおでかけ下さい。

## 令和3年(2021)厄年早見表

	前厄	本厄	後厄
女19歳の厄	17歳(2004生)	18歳(2003生)	19歳(2002生)
男25歳の厄	23歳(1998生)	24歳(1997生)	25歳(1996生)
女33歳の厄	31歳(1990生)	32歳(1989生)	33歳(1988生)
女37歳の厄		36歳(1985生)	
男42歳の厄	40歳(1981生)	41歳(1980生)	42歳(1979生)
男女61歳の厄	59歳(1962生)	60歳(1961生)	61歳(1960生)
幼児4歳の厄	2歳(2019生)	3歳(2018生)	4歳(2017生)

# 「鬼滅の刃」から学ぶ仏教

「鬼滅の刃」が日本人の心を揺さぶり、歴史的ヒットを続けています。舞台は大正時代、鬼に家族を殺された少年「炭次郎」が、鬼となつた妹を人間に戻すために「鬼殺隊」の一員として、さまざまな鬼と死闘を繰り広げていく…といった内容です。

人間である鬼殺隊側は容赦なく死んでしまします。しかし、敵である鬼は蘇生し、回復します。鬼全体のボスである「鬼舞辻無惨（きぶつじむざん）」は不変不滅の存在で千年以上生き続けています。仏教では永遠不変に固執することを「我執」と呼びます。不老不死の体を誇り、永遠の生を求め「鬼舞辻無惨」は、まさに「我執」にとらわれている「煩惱」のかたまりとして描かれております。

病氣や死(四苦)そのものが本当の苦しみではなく、避けようのない死を逃れようとする不可能な考えに執着する心こそが苦しみを生む源である、とお釈迦様は説かれました。

私達は、誰一人例外なく死にゆく存在です。死にゆく…変化する存在だからこそ(諸行無常)、限りある命だからこそ、かけがえない二度と無い人生として、有り難く感じることが出来ます。

年齢を重ねて見た目は醜くなっても、懸命に強く生きた人の生き様そのものは美しく感動するものとなります。そしていよいよ死を迎える時、その人間としての役目を懸命に果たしたからこそ、死が終わりではなく、死という通過点を乗り越えて、次は仏様の世界に行き生まれたい…往生したいと願います。

「鬼滅の刃」に登場する鬼はすべて元々私達と同じ人間だったという設定で、欲望や苦しみで限りなく膨れ上がった時に悪い縁に会い、鬼となり人間に危害を加えます。しかし主人公「炭次郎」は鬼もかつては人だったことに思いを遣り、哀れみます。鬼は、自分の悲しみを「炭治郎」が知ってくれたことで、心救われて消えていきます。鬼の心に寄り添おうとする、善悪や正邪を超越した「慈悲」の心を持つ主人公の魅力がより一層「鬼滅の刃」を惹きつけているのかも知れません。



# 梅花流たより

コロナ禍により秋の県大会及び全ての梅花講習会、研修会等が無くなりました。

令和三年五月に長野市真島総合スポーツアリーナ「ホワイティング」を会場に企画された全国大会の申し込みを…と思っていた矢先、伝道部詠道課より通達があり、開催の中止が決定したということでした。今年の全国大会は隣にある県というところを講師の皆さんが楽しみにしていました。致し方ありません。



令和2年10月5日忠霊塔慰霊供養

一日も早い新型コロナウイルスの終息を講員さんと共に祈り申し上げます。 轟 美代子

## 七人の名医

この自然界には七人の名医がおいでになります。

第一は「日光」です。あなたは一日どれだけ日光に当たっていますか？

第二は「空気」です。一分でも空気がなくなると大変なことになります。

第三は「水」です。動物は真水のミネラルウォーターしか飲みません。

第四は「食物」です。世の中がどれほど進化しても自然から生まれた食物こそ健康に一番です。ガン「癌」という字は品の山で病気になることを示しています。

第五は「運動」です。老いは足からといますが、植物は根が腐ると枯れ、動物は足の弱いものから他の動物のエサになる自然のおきてがあります。

第六は「休息」です。外国の人が言っていました。「日本人はイネムリが多い。夜眠っていないのですか？」

第七は「心の力」です。病は気から、私たちに必要なのは物の豊かさではなく心の豊かさです。自然の名医は私達に無限の力を与えて下さっているのです。

「人間よ、名医の皆さんをもっと大切にしないか！」

と警告するためにやって来たのが、新型コロナウイルスやインフルエンザウィルスかもしれません。

